

福岡市長選

民主・小沢氏が方針確認

市議団に「戦うのが政治」

今秋に予定される福岡市長選をめぐり、民主福岡市議団が21日、小沢一郎代表と市議団内で会い、政令指定市長選と党の相対立を踏まえ、選挙の戦略を協議した。小沢代表は、選挙の相対立を踏まえ、選挙の戦略を協議した。小沢代表は、選挙の相対立を踏まえ、選挙の戦略を協議した。

で臨みます。須崎埠頭再開発の是非については、今秋11月の福岡市長選挙の争点となることは必至です。私たちは、五輪の国内招致都市が決まる8月末までに、山崎市政の2期8年間をふり回り、民主党による「独自候補の擁立可否か」の市長選挙に臨む態度を決定します。



小沢・民主党代表と共に

とちぎ義博 議会レポート

第32号 2006年 夏号
 発行者:福岡市議会議員 柘木義博
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305
 TEL.845-7669 FAX.845-8511
 E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp
 ホームページをリニューアルしました
<http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/>

6月定例議会 代表質問

市長選挙に影響必至! 須崎埠頭の再開発 独自候補模索で「和戦両様」の構え

ずさんさ露呈! 五輪招致の開発計画!

福岡市は、2016年の五輪招致に名乗りをあげ、8月末に迫った国内招致都市の決定にむけて、東京都と一騎打ちを演じています。招致合戦の決め手となる競技会場や選手村、パビリオン、ホテルなどの施設整備は、須崎埠頭地区を中心に再開発する計画(事業費約4,700億円)を打ち出しましたが、住宅・商業施設の分譲・リースなど需要の根拠や同様に土地処分・住宅分譲を進めるアイランドシティ整備事業(約4,600億円)への影響など採算性や地権者合意などについて納得いく説明が得られず、須崎埠頭の再開発事業が極めて無理な計画であることが明らかとなりました。

とちぎ義博が、民主・市民クラブを代表しておこなった6月14日の定例議会一般質問に対する山崎広太郎市長と市執行部の答弁で露呈しました。



抜本見直し求める須崎開発!

わたしは、福岡市が仮に国内招致都市に当選した場合でも、採算性に乏しく実現性の低い須崎埠頭の再開発計画を断念して、アイランドシティを中心とする競技会場の配置を再検討することが現実的だと主張しました。例えば万が一、須崎埠頭地区を再開発するにしても「新たな市税投入など救済措置を講じない」ことを山崎市長が約束するよう迫りました。むしろ、福岡五輪の国内選考に落選した場合は、須崎埠頭地区の再開発については抜本的な見直しを求めたところです。

開発ありきの答弁に批判集中!

山崎市長や市執行部は、わたしの質問に対して、須崎埠頭地区の再開発は「高い需要がある」「アイランドシティを含め全市的な需要はある」と繰り返すだけで、具体的な根拠を示さずに終始。また、事業が採算割れを起こした場合の新たな市費投入など「救済措置をとるのか」という質問に対しても回答を避けました。さらに、福岡五輪が落選した場合も、須崎埠頭地区の再開発は進めると公言するなど、山崎市長の「再開発ありき」の姿勢が鮮明になってきました。

民主、独自候補擁立も!

民主・市民クラブは、いまま福岡五輪の招致それ自体には賛成ですが、五輪に名を借りた須崎埠頭の再開発事業には厳しい姿勢

「五輪落選でも進める」 須崎埠頭再開発で市長... 須崎埠頭再開発は、博多湾の... 須崎埠頭再開発は、博多湾の... 須崎埠頭再開発は、博多湾の...

山崎福岡市長 3選出馬表明... 福岡市の山崎市長は、6月14日の定例議会... 山崎市長は、6月14日の定例議会...

とちぎ義博・浜風のつどい

西鉄マリエラ・博多湾クルーズ

出航
 2006年9月24日(日) 午前11時30分
 ベイサイドプレイス博多埠頭
 (船航/午後1時30分) なお、悪天候の場合は会場変更もあります)

受付
 午前10時30分より(乗船開始11時15分)
 ベイサイドプレイス博多埠頭 第1ターミナル 水櫃前

問合せ
 西鉄マリエラ予約センター TEL.751-7171(担当 角)

参加費
 参加費/5,000円
 参加費には飲食代を含んでいます。なお、この集いは政治資金規正法第8条の2にもとづく政治資金パーティです



下記にご連絡ください。チケットと振込用紙を送付いたします。
 申込先/ふくおか都市環境研究会(代表 柘木義博)
 TEL.711-4736 FAX.732-4055(議会控室)
 TEL.845-7669 FAX.845-8511(事務所)
 Eメール tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ミヤマキリシマ咲き誇る雲仙を満喫!
 とちぎ義博と行く浜風バスツアー (5月21日)
 恒例となったバスツアーも今年で7回目。
 普賢岳の火砕流跡など大自然の力を改めて実感しました。

☆とちぎ義博後援会(無料)の入会者をご紹介ください☆ (連絡先 TEL.845-7669 FAX.845-8511)